学校番号	410

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「倫理」　（東京書籍）						
副教材等	アプローチ倫理資料 PLUS　2020（とうほう）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代を生きる主体としての自己を確立していくために、さまざまな思想、価値観を学ぶ。
・現実の諸課題を具体的に考え，人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探究する。
・良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断できるような力をつけさせる。

2　学習の到達目標

・人間の在り方・生き方を主体(自己)との関わりから考えることができる。
・自らの経験を振り返ることから課題を見いだし、それに基づいて青年期の意義と課題を多面的・多角的に考察し、豊かな自己形成に向けて探究できる。
・人間としての在り方生き方について、西洋、東洋の思想家、宗教家、芸術家の考えや作品を手掛かりとして、人間観・世界観を深める。
・日本人にみられる人間観・自然観・宗教観などの特質について、自己形成の課題とつなげて、多面的・多角的に考察できる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	古代から現代までのさまざまな思想、宗教を学ぶわけであるが、思想家、宗教家の実際の生き方を見つめる。	時代、社会の変化を踏まえ、歴史的な諸条件の中で思想、宗教が成立したことを理解させ、良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断できるように指導する。	思想家、宗教家の原典、諸資料を収集し、表などにまとめる。	「観念論と唯物論の違い」、「理性・悟性・感性の意味することや概念規定」などをはっきりさせながら、重要な語句(イデア、エイドス、ボンサンス、弁証法など）を理解させる。
評価方法	学習の状況 定期考査 レポート	学習の状況 定期考査 レポート	学習の状況 定期考査 レポート	学習の状況 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期前半	人間としての自覚①	・ギリシアの思想(ソクラテス以前) ・ソクラテス ・プラトン ・アリストテレスの思想 ・キリスト教	○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 自然哲学、ロゴス中心主義に対する関心を高め、意欲的に課題を追究する。 b: ロゴス、理性を根本におくギリシア思想、ヘブライズムについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料集にある原典の解読と有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 レポート
1学期後半	人間としての自覚①	・イスラーム教 ・仏教 ・中国思想(儒家、道家など)	○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○	a: 宗教、中国思想に対する関心を高め、意欲的に課題を追究する。 b: キリスト教に対する東洋思想について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料集にある原典の解読と有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 レポート

2学期前半	現代を生きる人間の倫理①	・ルネサンス ・宗教改革 ・科学革命 ・ベーコンの思想 ・デカルトの思想	○ ○ ○	 ○	○ ○	 ○ ○ ○	a: ヨーロッパ近代を告げるルネサンスと宗教改革に対する関心を高め、意欲的に課題を追究する。 b: 科学革命から、ベーコン、デカルトにいたる近代思想について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料集にある原典の解読と有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 レポート
2学期後半	現代を生きる人間の倫理②	・市民社会の成立と社会契約説 ・ドイツ観念論 ・社会主義思想	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a: 市民革命と産業革命の進行に対する関心を高め、意欲的に課題を追究する。 b: 市民革命と産業革命の進行の中で社会契約説、ドイツ観念論、社会主義思想が成立したことについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:資料集にある原典の解読と有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 レポート

3学期	新たな人間像の模索	・実存主義 ・フランクフルト学派 ・構造主義	○ ○ ○	○ ○	 ○	○ ○ ○	a：２０世紀思想に対する関心を高め、意欲的に課題を追究する。 b：ヘーゲル、マルクスの思想に対する実存主義の出現、「ファシズムをなぜ阻止できなかったか」という問題意識に立つフランクフルト学派等の現代思想について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c：資料集にある原典の解読と有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d：基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 レポート

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。